

## 日本人の資質をベースとした、 “和魂洋才”のコンサルファームを目指す。

不動産や債権、株式の財務デューデリジェンス（適正評価手続き）をベースに、金融と不動産の融合を標榜するコンサルティンク会社として2000年に設立された株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ。大手外資系金融機関や不動産ファンド、国内金融機関など、多くのクライアントが厚い信頼を寄せる同社の創業者が中里肇氏だ。

**中** 里氏は大学を卒業後、当時の日本長期信用銀行や外資系大手会計コンサルティンクファームなどで、金融や不動産、そしてコンサルティンクなどの実務を経験。

「コンサルティンクを提供する側とされる側から見ていた当時から、外資系大手コンサルティンクファームのフイートの高さには少なからず違和感を感じており、もう少し合理的かつリーズナブルな価格でコンサルティンクを提供できないだろうかと考えていました。また、外資系コンサルが日本のビジネスや日本人の資質を十分に理解できていないかという点も決意の理由の一つで、多様な人材や意見を取り入れながらも、やはり日本人の課題は日本人が解決するのがベストだと思っていたのです。」

そうした思いから独立し、グラックス・アンド・アソシエイツを設立。「日本の金融業界の

真の改革のために一石を投じる」という決意を込め、混沌期の古代ローマで構造改革を目指した英雄グラックスにちなむ社名を付けた。

創業の原点となった、思いの通り、同社の大きな強みとなっているのが、大手外資系コンサルティンクファームと比べて安価なフイアの設定と、クライアントのビジネスに価格以上の価値を生み出すサービスの質だ。

同社では、中里氏をはじめとする金融機関経験者や公認会計士、税理士、不動産鑑定士を中心としたチームがチームレスに連携し、スピーディかつクオリティの高いコンサルティンクを実現。再生計画の策定や企業価値向上につながるM&Aの実績も豊富で、不動産や財務、事業に関わるデューデリジェンスなど、あらゆるコンサルティンク業務をワンストップで行える体制を確立している。

**当** 然、社内には各分野のスペシャリストが揃うが、「人材の採用については、各専門領域における知識だけでなく、クライアントに寄り添える心を持つているかどうかという、人間的な部分も重視します」と、中里氏はいう。また、あえて畑違いの業界からも人材も採用するなど、業務に新しい風を吹き込むことを目指し、多様な

視点を取り入れるのも同社の人材登用の特徴だ。

現在は企業再生やM&Aを柱に、企業価値や債務の評価、各種デューデリジェンス、バックオフィス・ミドルオフィス業務サポートや、不動産の鑑定評価や不動産仲介など、多様な事業を展開している。そんな同社が近年、力を入れているのが、自社の知見やノウハウを活かした地方創生への貢献だ。

たとえばコロナ禍では、地方の第三セクターが運営する交通インフラなどが大きなダメージを受けた。そうしたケースにおいて、民間企業なら経済合理性に基づいてさまざまな判断が下せるが、第三セクターでは合意形成などが容易ではなく、再生計画は非常に難しいものになる。地方創生の掛け声のもと、国や自治体でも地方人口を増やす施策など多様な策を講じているものの、それらの効果が出るには長い時間がかかるだろう。

「対して、企業再生などの知見を豊富に持つ我々であれば、即効性が見込める効果的なアドバイスが可能だ。もちろんこれまでにはない苦勞もありませんが、苦境に陥っている第三セクターは全国各地にありますし、そこに我々の知見やノウハウを投入することは、日本の地方創生という意味でも大きな意義があると感じています。」

あると感じています。」

創業から20年が過ぎ、今や従業員は40名を超え、国内外のクライアントから厚い信頼を寄せられるコンサルティンクファームへと成長した。しかし、「まだまだ道の半ばです」と中里氏は話す。

「我々が目指すのは、日本人の優秀さを始めとする資質をベースに、多国籍な人材や海外のトレンドなども柔軟に取り入れた、外資系ファームが真似ることのできない日本ならではのコンサルティンクファーム。そのうした理想を実現するために、大手外資系コンサルティンクファームに負けないサービス質をさらに追求し、日本人コンサルティンクとしての強みも、より磨き上げていかなければなら

ないと考えています。」

次代を見据えた新卒人材の採用や育成などに加え、最近では債権回収会社を買収してグループに加えるなど、周辺事業のM&Aによるグループ力の強化にも注力する。

「会社としても個人としてもまだまだチャレンジの連続。今後も株主や取引先、そして社員のために粘り強く事業に取り組む、一歩一歩、前進していきたいと思っています。」

日本人だからこそ実現できる、日本のビジネスに真の意味で寄り添える「和魂洋才」のコンサルティンクファーム。自らが掲げた大きな理想に向けて、中里氏とグラックス・アンド・アソシエイツは、成長のスピードを緩めることなく走り続ける。

# CHALLENGER

**The Extra Edge**

世の中のトレンドをリードする  
話題のモノ、ヒト、コトなどを紹介

中里肇

NAKAZATO HAJIME

株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ 代表取締役

1964年東京都生まれ。1988年日本経済大学経済学部経済学系を卒業。卒業後、外資系金融機関を経て、日本における金融機関向けにデューデリジェンスやバックオフィスなどの業務を手がける。2000年、株式会社グラックス・アンド・アソシエイツを創業。

